

平成二十七年年度 東京藝術大学 音楽学部 入学試験 (問題・解答) 用紙
実施日時: 平成二十七年二月二十六日 (木) 一三時〇〇分〜十五時〇〇分 (二時間〇〇分)

科 目	学 科 名	受験生記入欄	(ア)
国 語	楽 理 科	受験番号	(イ)
七 枚のうち 一枚目		番	

第一問 次の文章(竹内成明『知識論のための覚書』より)を読んで、以下の問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権法上の問題から掲載することができません。

平成二十七年年度 東京藝術大学 音楽学部 入学試験(問題・解答) 用紙
実施日時：平成二十七年二月二十六日(木) 一三時〇〇分～十五時〇〇分(二時間〇〇分)

科 目	学 科 名	受験生記入欄 受験番号	(ア)	(イ)
国 語	楽 理 科	受験番号		
七 枚のうち 二 枚目		番		

この部分につきましては、著作権法上の問題から掲載することができません。

科目	学 科 名	受験生記入欄	(ア)	(イ)
国 語	楽 理 科	受験番号		
七枚のうち三枚目		番		

この部分につきましては、著作権法上の問題から掲載することができません。

竹内成明『知識論のための覚書』より第二章「疑われる知識 1 「知」への問い」
 (れんが書房新社、一九九七、四十一頁～五十頁)

問一 文中(ア)～(オ)のカタカナを適切な漢字になおしなさい。

問二 文中の傍線部(1)「丸山が笑ってしまう」のはなぜか、説明しなさい。

問三 文中の傍線部(2)「その大きな流れこそが、私たち日本人にとっての「知識」の問題ではないのだろうか」とはどういうことか、説明しなさい。

問四 文中の傍線部(3)「素人が疑ったのは、宙空にある科学であった」とあるが、素人がそれを疑ったのはなぜか、説明しなさい。

問五 文中の傍線部「暮らしの理」「事実の理」とは、それぞれどのような「理」のことか説明しなさい。

問六 文中の傍線部(4)「すでに歴史学と肩を並べているそれらの「学」は、自分がフオークロアによって説き明かされることを、容易には甘受しないだろう」とあるが、それはなぜか説明しなさい。

問七 文中の傍線部(5)「王座をおりない知識人のあいまいさと、豊かさを享受している庶民のあいまいさとは、おそらく無縁ではないだろう」とはどういうことか、説明しなさい。

平成二十七年年度 東京藝術大学 音楽学部 入学試験 (問題・解答) 用紙
実施日時：平成二十七年二月二十六日(木) 一三時〇〇分～十五時〇〇分 (二時間〇〇分)

科目	学 科 名	受験生記入欄	(ア)	(イ)
国 語 七枚のうち四枚目	楽 理 科	受験番号 番		

第二問 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

この部分につきましたは、著作権法上の問題から掲載することができません。

森正人校注 新日本古典文学大系『今昔物語集 五』より卷第三十一の六「賀茂祭日一条
大路立札見物翁語」(岩波書店、一九九六、四五〇頁～四五二頁)

平成二十七年年度 東京藝術大学 音楽学部 入学試験(問題・解答)用紙
実施日時:平成二十七年二月二十六日(木) 一三時〇〇分〜十五時〇〇分(二時間〇〇分)

科 目	学 科 名	受験生記入欄	(ア)
国 語	楽 理 科	受験番号	(イ)
七 枚のうち 五 枚目		番	

問一 傍線部(A)〜(C)を正しく書き下しなさい。ただし、すべて平仮名で書くこと。

問二 傍線部(ア)〜(ウ)について、文脈に沿った意味になるように現代語になおしなさい。

問三 傍線部(1)〜(3)について、文脈がわかるように現代語訳しなさい。

問四 傍線部(4)について、

- ① 現代語に訳しなさい。
- ② ここから読み取れる翁の人物像について説明しなさい。

問五 傍線部(5)について、

- ① 人物関係が明らかになるように現代語訳しなさい。
- ② この一文のもつ意味を、翁が陽成院の名前を書かなかったにもかかわらず、京の人々がそのように思い込んだ理由も絡めて説明しなさい。

科目 七枚のうち六枚目	学 科 名 楽 理 科	受験生記入欄 受験番号	(エ)	(イ)
----------------	----------------	----------------	-----	-----

第一問

問一(ア)

(イ)

(ウ)

(エ)

(オ)

問二

--	--

問三

--	--

問四

--	--

問五

暮らしの理

--	--

事実の理

--	--

問六

--	--

問七

--	--	--	--

平成二十七年年度 東京藝術大学 音楽学部 入学試験 (問題・解答) 用紙
 実施日時：平成二十七年二月二十六日 (木) 一三時〇〇分～十五時〇〇分 (二時間〇〇分)

七枚のうち七枚目	科目名	受験生記入欄
国語	楽理科	受験番号
		番
	(ア)	
	(イ)	

第二問

問一

(A)

(B)

(C)

問二

(ア)

(イ)

(ウ)

問三

(1)

(2)

(3)

問四

(1)

(2)

問五

(1)

(2)